

# SDGs未来都市についての勉強会報告

下川町が環境未来都市の次のステップとして目指す「SDGs未来都市」について議会としても理解を深めようと勉強会を続けてきました。

講師は町の総合計画審議会SDGs未来都市部のファシリテーターをお引き受けいただいている枝廣淳子氏です。



多岐にわたる項目について一つ一つ掘り下げてご説明いただき、質問にも丁寧にお答えいただいたおかげで理解が深まりました。

また、質疑応答の中からポイントとなるキーワード、例えばインクルーシブ(包摂的)やレジリエンス(しなやかな強さ)



についてもミニレクチャーをしていただき視野が広がりました。2030年がゴールという息の長い取り組みですので、今後も随時こうした機会を設けて研鑽を続けていきます。

開催月日	勉強会の内容
1月12日	・下川町の日本および世界における位置づけと役割 ・SDGs（持続可能な開発目標）およびシステム思考
2月6日	・2030年の下川町で増えている欲しい物事、減っている欲しい物事、変わらずに欲しい物事を書き出し、SDGsの17項目と照らし合わせながら分類
2月21日	・前回の続きとSDGs未来都市計画についての意見交換

## 平成30年度 議会運営活動方針

\*新規事項は太字

- ① 議員の資質向上
    - ・ 議会本来の使命と議員の職責を深く自覚し、日常における議員活動の推進と自己研鑽に努める。
    - ・ 議会は、町民の代表者として団体意思を決定する重要な機関であるとの認識に立ち、常に町民との対話を重ね、その使命の実現に努める。
  - ② 政策形成機能、チェック機能の充実強化
    - ・ 各種研修会等に参加し、広い視野を身につけ、地方行政の振興発展に努める。
    - ・ 積極的な課題提起、政策提言等を行うための調査研究、全員協議会等での課題の共有、論点整理、議員間の対話の充実を図る。
  - ③ 町民に開かれた議会の推進
    - ・ 町民に開かれた議会とするため調査研究を深める。
    - ・ 開かれた議会運営と町民への説明責任を果たすため、議会が保有する情報及び議事録等の公開を推進する。
    - ・ 町民からの要望、提言等の意見を幅広く聴取し、議会運営等に反映させるため「下川町議会モニター制度」を創設する。
  - ④ ICTの活用
    - ・ 議会活動の質を向上するためにICTの活用を推進する。
    - ・ 定例会や臨時会のインターネット配信を継続する。
- その他新規事項  
・【議会広報特別委員会】  
広聴機能を拡充した新しい体制に移行する。